

LEVEL
4



朗読音声のダウンロード
Audio download

カラスとハリネズミ

え　　ぶん
絵と文 アセム



★読む前に **Before you read**

《多読の読み方》

たどく よ かた
多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。
つぎの4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.





これはカザフスタンの昔話です。
あるところに、「ハン」と呼ばれている君主がいました。
ある日、ハンはカラスとハリネズミを呼びました。
そして、カラスに言いました。
「私は世界中で一番美しい歌を歌える鳥がほしい。
毎朝その歌を聞きながら自覚めたいのだ。その鳥を見
つけてこい。」
そして、ハリネズミにも言いました。
「それから、もっともやわらかい物がほしい。毎朝
それにほほでふれたいのだ。」
ハンは一日でそれらを探してこいと命令しました。



カラスは多くの場所でたくさんの鳥の歌を聞きました。
うつくしいのも、みにくいのも。
しかし、何かが足りなかったのです。
つかれたカラスは自分の家にもどりました。



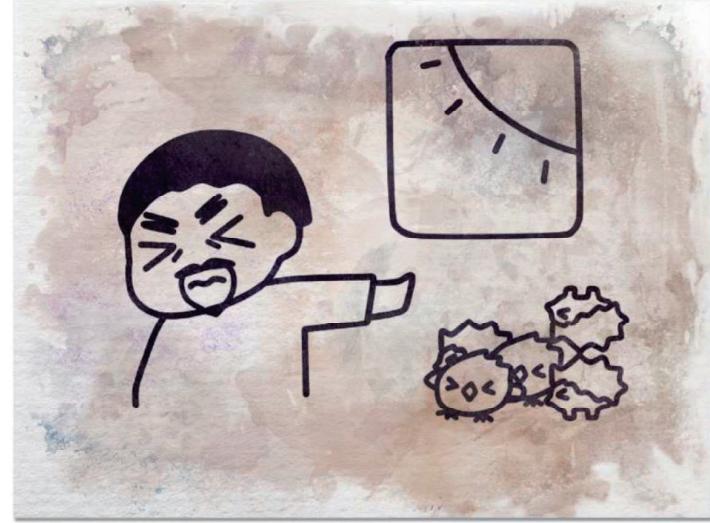
カラスを見てカラスの子供たちは鳴き始めました。
カラスはその鳴き声が一番美しいと思いました。それで、その小さいカラスたちをハンの寝室にはこびました。



ハリネズミはすべての土の中をさがしましたが、何も見つけられませんでした。
疲れたハリネズミは自分の穴にもどって、自分の子供たちに会いました。



子供たちを抱きながら、子供たちが世界で一番やわらかいと思いました。それで、小さいハリネズミたちをハンの寝室にはこびました。



朝がきました。
ハンはカラスの子供の大きい鳴き声で目覚めました。
「うるさい！」
ハンが頭を回すと、子供のハリネズミの針が顔に当たりました。
「いた
痛い！」
ハンはとても怒りました。そして、カラスとハリネズミの首を切れと命令しました。
ハンは言いました。
「お前たちの最後のことばを聞こう。」



カザフスタンの留学生、アセムさんが
絵と文を書きました。



カラスとハリネズミはぜんぶを語りました。
ハンはそれを聞いてよく考えました。
そして、言いました。
「それぞれの生き物にとって、自分の子供は太陽より
も美しくて、はちみつよりも甘くて、熱い火よりも
あったかくて、わたげよりもやわらかいのだ。」
ハンはカラスとハリネズミを解放しました。

カラスとハリネズミ

2017年2月4日 発行

絵と文：アセムさん

監修：NPO多言語多読



TADOKU
Supporters

NPO多言語多読

tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンス
の下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>